

2022年8月10日

カーボンブラック協会

## 2022年（R4）カーボンブラック需要年央見直し

内閣府の7月の月例経済報告によると、国内景気は感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直してゆくことが期待されている。ただし、世界的に金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や原材料価格の上昇、供給面の制約などによる下振れリスクに十分注意する必要があるとしている。

このような経済環境の中で、カーボンブラック需要の7割を占める自動車タイヤ需要について（一社）日本自動車タイヤ協会が、9割超を占めるゴム産業全体の新ゴム消費量について（一社）日本ゴム工業会が本年の見直し需要をそれぞれ公表している。

これによると、自動車タイヤの国内需要見通しは前年比1.1%増、新ゴム消費量は、タイヤ用で同8.2%増、一般ゴム用は同6.3%増、ゴム用合計で同7.8%増となっている。

当協会は、（一社）日本自動車タイヤ協会と（一社）日本ゴム工業会の見直しをベースに、カーボンブラックの輸出入の状況等を加味して2022年のカーボンブラック需要の見直しを行った。この結果、カーボンブラック総需要は前年比5.0%増、年初見通し比0.4%減の754,670トンとした。

なお、「年央見通しの指標」については添付資料の【表1】を、「カーボンブラック需要年央見直し」については同【表2】、「輸入動向年央見直し」については【表3】を夫々参照願う。

以上

添 付

【表1】 2022年需要年央見直しの指標

	2021年実績		2022年年初見通し		2022年年央見直し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
自動車生産 (千台)	7,849	97.3%	9,209	117.3%	8,062	102.7%
国内タイヤ需要 (千本)	106,546	103.8%	113,500	106.5%	107,682	101.1%
タイヤゴム消費 (トン)	1,014,730	117.5%	1,096,210	108.0%	1,097,940	108.2%
一般ゴム消費 (トン)	241,970	108.4%	255,490	105.6%	257,260	106.3%
新ゴム消費量計 (トン)	1,256,700	115.7%	1,351,700	107.6%	1,355,200	107.8%

【表2】 2022年カーボンブラック需要年央見直し

	2021年		2022年年初見通し		2022年年央見直し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
タイヤ	471,849	117.5%	504,257	106.9%	501,760	106.3%
一般ゴム	137,923	108.4%	145,629	105.6%	146,640	106.3%
ゴム用計	609,772	115.4%	649,886	106.6%	648,400	106.3%
非ゴム	46,772	115.6%	49,954	106.8%	46,470	99.4%
内需計	656,544	115.4%	699,840	106.6%	694,870	105.8%
輸出	62,278	131.3%	58,000	93.1%	59,800	96.0%
[内ゴム用計]	17,564	128.5%	17,600	100.2%	15,690	89.3%
<b>総需要</b>	<b>718,822</b>	<b>116.6%</b>	<b>757,840</b>	<b>105.4%</b>	<b>754,670</b>	<b>105.0%</b>
[内ゴム用計]	627,336	115.7%	667,486	106.4%	664,090	105.9%

【表3】 2022年カーボンブラック輸入動向

	2021年実績		2022年年初見通し		2022年年央見直し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
ゴム用	136,878	121.3%	144,890	105.9%	123,620	90.3%
非ゴム用	13,800	110.8%	15,000	108.7%	13,910	100.8%
<b>合計</b>	<b>150,678</b>	<b>120.3%</b>	<b>159,890</b>	<b>106.1%</b>	<b>137,530</b>	<b>91.3%</b>

以上